

教育相談のご案内

お子さんは成長していく過程で、様々な心の葛藤を経験していきます。時には、友達関係や自己肯定感の弱さから不登校につながることもあります。子ども自身が自分の力で乗り越えていける、たくましくしなやかな心育てを一緒に考えていきましょう。

たくましくしなやかな
心育てを



亀岡市みらい教育リサーチセンター

たくましくしなやかな**心**育てを…

社会性・対応力・気持ちのコントロール・自己肯定感

これらの力は、様々な状況に適應していく力につながっていきます。



心や社会性の発達には一定の順序性があります

発達の各段階を乗り越えていくことで
たくましくしなやかな心へと育っていきます。
時には、子育てを立ち止まり、振り返って
みてください。

子どものこんな姿が気になります

- 自分の意志表現や主張ができない
- 自分で物事が決められない
- 無気力になる
- 友達の様子ばかりが気になる
- コミュニケーションをとるのが苦手
- 気持ちのコントロールができてにくい
- 些細なことで心配や不安になる
- 自己評価が低くなる

子どもの心に寄り添うために

- ・家庭が安らぎの場となるように
- ・自立を促すかわりを
- ・温かく見守るかわりを
- ・人間関係の基盤づくりを
- ・我慢する心やルールを守ることの大切さを

子どもの確かな力や自信につながるように

「がんばれ」という言葉より「がんばっているね」という言葉をかけてあげましょう。子どものやる気や努力する心を育て、ひいては学力の向上にもつながります。

様々な経験や体験は、自分で物事を決めるときに判断の基準となり、役に立ちます。また、自分で決断できた事が自信にもつながります。

子どもが乗り越えなければいけないハードルを大人が取り除いてしまったら子どもは成長しません。大人の出番とそうでない時とを考えましょう。

自己肯定感が低いと自分を否定的に受け止めがちになってしまいます。ありのままの子どもの姿を受け止め、前向きに考えられる言葉がけが大切です。

子どもとの距離感を考えながらも会話の機会を持ち、子どもの考え方を理解し、信じて見守る忍耐力も必要です。

子どもの駄目なところを直そうとするより、成長しようとする力を応援しましょう。



幼児後期

(3歳～6歳)

集団生活の中で様々な葛藤を通して気持ちをコントロールしていきます。



児童期

(小学校低・中学年)

学習が始まり、苦しい事にも取り組みます。また活動や友達関係が広がります。



前思春期

(小学校高学年)

心と体に変化の兆し表れます。自分と友達を比較し客観視ができます。



思春期・前半

(中学生)

自立願望で親への依存心が薄れます。様々な矛盾に気づき反抗的になります。

大切な心育てと一緒に 考えていきたいと思います

みらい教育リサーチセンターでは教育相談を行っています。

- ① 不登校・登校しぶりの悩み ② 友達関係・性格・行動の悩み
- ③ 心や体の発達・学業の悩み ④ 子育ての悩み 等々、

教育相談員・臨床心理士がお聴きします。必要に応じて、遊戯療法や発達検査を行います。

まずは、お電話・メールをください。



電話

0771-26-3915(直通)

受付時間 午前 9:30～午後 4:30

(土・日・祝日・年末年始は除く)

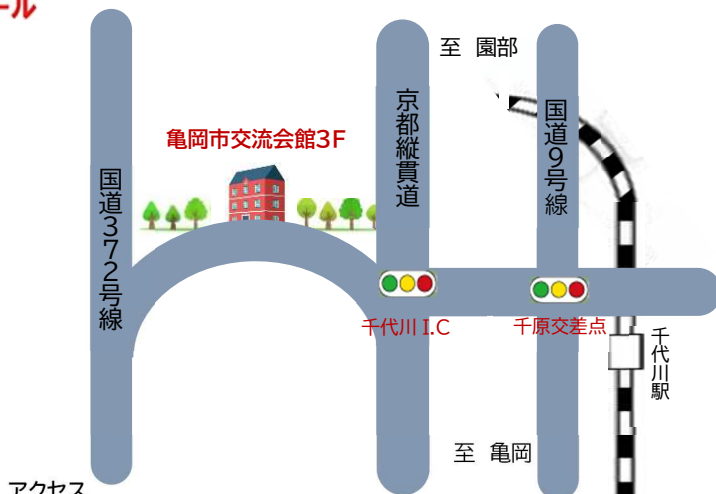


メール

上の QR コードからアクセスして申し込んでください。

返信には数日(土日祝日・年末年始を除く)要します。

お急ぎの方は電話教育相談をご利用ください。



アクセス

京都縦貫自動車道の千代川インターから西へ 2km。赤レンガの建物。

☎ 621-0242

亀岡市みらい教育リサーチセンター

亀岡市宮前町神前長野 15 亀岡市交流会館 3F

